



平成27年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月9日 東

上場会社名 株式会社アスカネット 上場取引所
 コード番号 2438 URL <http://www.asukanet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 福田 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 功野 顕也 (TEL) 082-850-1200
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第2四半期の業績 (平成26年5月1日～平成26年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第2四半期	2,325	5.1	281	1.6	285	2.0	180	5.9
26年4月期第2四半期	2,212	5.5	277	27.2	279	27.8	170	28.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年4月期第2四半期	10.79		10.66					
26年4月期第2四半期	10.18		10.11					

当社は、平成26年11月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第2四半期	4,519	3,746	82.7
26年4月期	4,357	3,687	84.5

(参考) 自己資本 27年4月期第2四半期 3,737百万円 26年4月期 3,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	32.00	32.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年11月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割は平成26年11月1日を効力発生日としておりますので、平成26年4月期の期末配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に配当を実施しております。

3. 平成27年4月期の業績予想 (平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,984	4.6	673	△6.3	676	△6.9	434	△2.6	25.92

注直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年4月期2Q	17,464,000株	26年4月期	17,464,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年4月期2Q	718,108株	26年4月期	718,108株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年4月期2Q	16,745,892株	26年4月期2Q	16,745,892株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成26年11月1日付けで普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して計算しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策の下支えもあり、緩やかな回復傾向にありますが、企業業績の回復には足踏みが見られ、円安による輸入価格の上昇なども懸念されております。

景気動向に左右されにくい葬祭市場に対し遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力サービスを主に提供するメモリアルデザインサービス事業、1冊から本格的写真集という新しい写真のアウトプット手法を提案するチャレンジングなビジネスであるパーソナルパブリッシングサービス事業、空中結像という今までにないユニークな技術で、新しい市場を創造し、夢の実現を目指すエアリアルイメージング事業、それぞれに位置づけや特色が異なる三つの事業を展開してまいりました。

また、新サービスとして「選べるギフト」に特化したECプラットフォーム「ギフトネットコム」のリリースに向け、開発、マーケティングを進めてまいりました。

このような状況のもと、既存事業での着実な成長と、新規事業への先行投資のバランスに配慮して、事業を推進してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(メモリアルデザインサービス事業)

当事業におきましては、新規顧客獲得による遺影写真加工収入や動画など葬儀演出関連売上の着実な増加に加え、額の売上も順調に推移しました。

平成25年10月に設立したびわこオペレーションセンターは開設1年をむかえ、安定的に稼働しております。また、経費面におきましては、展示会向けの広告宣伝費や旅費交通費が増加しました。

その結果、売上高は1,063,608千円（前年同四半期比103.0%）、セグメント利益は319,548千円（前年同四半期比102.2%）となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

当事業におきましては、プロフェッショナル写真市場向けには、全国セミナーの実施や写真集発注用ソフトウェアの改善を進めたほか、「ZENレイフラット」「オンデマウント」など新しい製品の販売に注力してまいりました。一般消費者向けには、各種イベントへの出展やキャンペーンの実施に加え、企業とのタイアップによるサービスの提供にも取り組んでまいりました。

海外向け売上は競争環境が厳しく苦戦しているものの、国内プロフェッショナル写真家向け売上、一般消費者向け売上とも順調に推移いたしました。生産効率の向上により粗利率は向上し、経費面につきましては、広告宣伝費や人件費が増加いたしました。

その結果、売上高は1,241,060千円（前年同四半期比106.3%）、セグメント利益は224,238千円（前年同四半期比111.0%）となりました。

(エアリアルイメージング事業)

当事業は、空中結像技術を用いた新しい画像・映像表現により市場を創造することを目指し、平成23年3月に開始した事業であります。

当事業におきましては、空中結像を可能にする特殊なプレート（AIプレート）の試作品を販売してまいりました。10月には展示会CEATECに出展し、空中結像技術の具体的な活用シーンを提案し、多くの反響、問合せをいただきました。

また、最重要課題でありますAIプレートの量産化につきましては、複数の製造方法により試作を繰り返しており、量産技術の確立に向けて着実に前進しております。

その結果、売上高は20,780千円（前年同四半期比165.4%）、セグメント損失は49,937千円（前年同四半期は41,321千円の損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,325,450千円（前年同四半期比105.1%）となり、利益面につきましては、エアリアルイメージング事業の量産に向けた試作や「ギフトネットコム」サービスの研究開発等への先行費用が発生したものの、売上増による粗利益の増加により、経常利益は285,154千円（前年同四半期比102.0%）、四半期純利益は180,629千円（前年同四半期比105.9%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ162,534千円増加し、4,519,988千円となりました。これは主に、現金及び預金が185,522千円減少する一方で、印刷設備、製本設備の購入などにより有形固定資産が241,726千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ104,114千円増加し、773,915千円となりました。これは主に、固定資産の購入などにより未払金が156,618千円増加したことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ58,419千円増加し、3,746,073千円となりました。これは主に、剰余金の配当として133,967千円計上した一方で、四半期純利益を180,629千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ185,522千円減少し、1,120,501千円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、216,612千円（前年同四半期は295,976千円の獲得）となりました。これは主に、税引前四半期純利益284,762千円、減価償却費122,848千円を計上した一方、法人税等の支払額159,752千円を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、268,087千円（前年同四半期は236,362千円の使用）となりました。これは主に、印刷、製本関連の機械装置など有形固定資産の取得182,383千円、新サービスであるギフトネットコム関連の開発など無形固定資産の取得77,595千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、134,046千円（前年同四半期は130,467千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払133,209千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月10日に発表いたしました平成27年4月期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,911,024	1,725,501
受取手形及び売掛金	552,595	562,101
商品及び製品	82,350	107,800
仕掛品	17,035	15,236
原材料及び貯蔵品	42,294	41,740
その他	90,495	104,550
貸倒引当金	△5,329	△5,206
流動資産合計	2,690,466	2,551,723
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	482,394	472,544
土地	432,702	432,702
その他(純額)	343,180	594,756
有形固定資産合計	1,258,277	1,500,003
無形固定資産	218,496	268,383
投資その他の資産	190,213	199,878
固定資産合計	1,666,987	1,968,264
資産合計	4,357,454	4,519,988
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,686	109,830
未払法人税等	165,800	109,300
賞与引当金	112,000	114,900
その他	276,271	429,186
流動負債合計	658,758	763,217
固定負債		
退職給付引当金	8,114	8,606
その他	2,928	2,091
固定負債合計	11,042	10,698
負債合計	669,800	773,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	2,704,647	2,751,309
自己株式	△122,635	△122,635
株主資本合計	3,678,896	3,725,558
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,101	11,503
評価・換算差額等合計	3,101	11,503
新株予約権	5,654	9,011
純資産合計	3,687,653	3,746,073
負債純資産合計	4,357,454	4,519,988

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
売上高	2,212,518	2,325,450
売上原価	1,108,350	1,150,018
売上総利益	1,104,167	1,175,431
販売費及び一般管理費	826,783	893,681
営業利益	277,384	281,750
営業外収益		
受取利息	810	833
受取配当金	339	494
受取手数料	292	297
為替差益	192	615
災害見舞金	—	720
その他	492	443
営業外収益合計	2,126	3,404
営業外費用		
支払利息	14	—
営業外費用合計	14	—
経常利益	279,496	285,154
特別損失		
固定資産除却損	1,450	392
特別損失合計	1,450	392
税引前四半期純利益	278,045	284,762
法人税等	107,547	104,132
四半期純利益	170,498	180,629

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	278,045	284,762
減価償却費	135,333	122,848
株式報酬費用	2,353	3,356
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,072	△123
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,100	2,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,804	492
受取利息及び受取配当金	△1,149	△1,327
支払利息	14	—
為替差損益(△は益)	△2	1
固定資産除却損	1,450	392
売上債権の増減額(△は増加)	△32,407	△10,586
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,077	△23,097
仕入債務の増減額(△は減少)	12,745	5,143
未払消費税等の増減額(△は減少)	5,521	△2,307
その他	△1,678	△6,761
小計	405,671	375,693
利息及び配当金の受取額	500	671
利息の支払額	△3	—
法人税等の支払額	△110,191	△159,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	295,976	216,612
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,000	△5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△171,784	△182,383
無形固定資産の取得による支出	△61,467	△77,595
貸付けによる支出	—	△6,000
貸付金の回収による収入	200	—
その他	△3,309	△2,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,362	△268,087
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△8,723	—
配当金の支払額	△120,907	△133,209
その他	△836	△836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,467	△134,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,850	△185,522
現金及び現金同等物の期首残高	944,258	1,306,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	873,408	1,120,501

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

報告セグメント	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,032,859	1,167,092	12,566	2,212,518	—	2,212,518
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,032,859	1,167,092	12,566	2,212,518	—	2,212,518
セグメント利益又は損失 (△)	312,561	202,104	△41,321	473,344	△195,959	277,384

(注) 1 セグメント利益の調整額△195,959千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

報告セグメント	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,063,608	1,241,060	20,780	2,325,450	—	2,325,450
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,063,608	1,241,060	20,780	2,325,450	—	2,325,450
セグメント利益又は損失 (△)	319,548	224,238	△49,937	493,849	△212,098	281,750

(注) 1 セグメント利益の調整額△212,098千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。